

令和4年度大阪府障がい者委託訓練事業にかかる
大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日 時

令和4年1月7日（金）14時から14時35分まで

2 場 所

大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）41階 共用会議室④

3 選定委員会委員

澤田 敏仁（大阪府社会保険労務士会）

福地 守（大阪府中小企業家同友会）

向後 礼子（学校法人近畿大学）

4 審査方法

令和4年度大阪府障がい者委託訓練事業に係る企画提案公募要領に定める審査基準に基づき、3名の選定委員会委員が書類審査を行い、令和4年度大阪府障がい者委託訓練事業に係る企画提案公募要領の6の（2）審査基準の配点に基づき採点・評価した。

5 議事概要

令和4年度に実施する障がい者委託訓練（知識・技能習得訓練（集合訓練、職場実習付き訓練）、e-ラーニング、在職者訓練）の委託先候補を選定するため、企画提案公募を実施、応募のあった事業者の企画提案について、その内容を委員会で評議し、得点の最も上位の事業者を最優秀提案事業者として選定した。

6 選定委員発言等要旨

訓練・カリキュラム内容、訓練中及び訓練終了後の就職支援内容の評価、採点にあたっての考え方等について意見があった。

- ・ 障害者雇用の法定雇用率の上昇も影響し、就職するための訓練というより、就職後の定着支援にも力点が置かれてきている。また、同じ訓練であっても障がい種別を念頭に置いた対応が必要となるため、これらを踏まえた提案がなされているかという観点で評価した。
- ・ 訓練・カリキュラム内容については、障がい特性別の工夫が認められるか、講師の経験が豊富か、また、支援体制は充実しているかなどの点からを評価した。一方、使用ソフト等の適切性については、理由なくバージョンの古いものを使用している場合があった。
- ・ 訓練中及び訓練終了後の就職支援内容については、日頃からのフォロー体制の充実度や訓練終了後もしっかりとフォローしている点などを評価した。
知識や技術の習得は社会人として自己管理や心構えなどの受容性について就職支援でしっかり触れていることや、雇用継続支援において、障がいの特性で企業の方にも配慮して欲しいことを具体的に伝える提案については高く評価した。